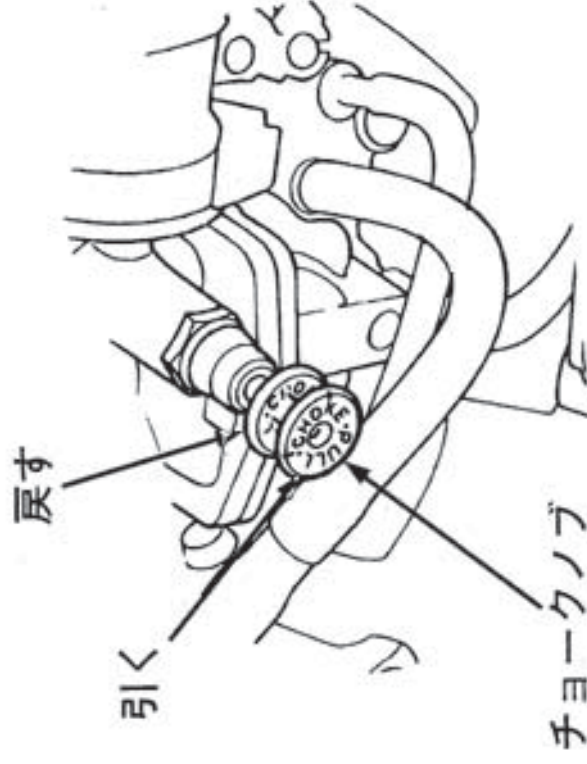


正しい運転操作

エンジンのかけかた

- エンジンが冷えているとき
- 1. エンジンストップスイッチが“RUN”になっていることを確認します。
- 2. 燃料コックレバーが“ON”になっていることを確認します。
- 3. メインスイッチを“ON”にします。
- 4. チェンジをニュートラルにします。
(車体を前後に動かしてニュートラルであることを確認してください。)
- 5. チョークノブをいっぱいに引きます。
- 6. スロットルゲリッップを回さずに(完全に戻した状態)、キックスタータペダルを力強くキックします。
(数回キックしてもかからないときは、“エンジンが暖まっているとき”の方法で始動してください。)
- 7. エンジンがかかったら、回転がスムーズになるまで暖機運転し(普通30秒ぐらい、特に寒いときは2～3分間ぐらい。)、チョークノブを完全に戻します。



8. サイドスタンドが確実に格納してあることを確認してからスタートしてください。
※この車には、サイドスタンドを出したままチエンジを入れると、自動的にエンジンが停止するイグニッションカットオフ式サイドスタンドを採用しています。スタートする前に、必ずサイドスタンドを格納してください。
- エンジンがかからないときは、75 ページ記載の要領で確認してください。